

Japan Society of Sports Industry

日本スポーツ産業学会

学会ニュース

No.111

日本スポーツ産業学会第28回大会開催される

第28回大会は、2019年7月27日(土)と28日(日)に日本体育大学（世田谷キャンパス）にて行われました。猛暑の中、多数の参加者（総入場者数：151名、内有料入場者数：134名〔正会員：93名、学生会員：25名、非会員一般：9名、非会員学生：7名〕を得て盛会のうちに幕を閉じました。これもひとえに、大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、プログラムの「アイデアコンペ」には16件の応募があり、厳正な審査の結果選ばれた5件の著者が当日プレゼンし、スポーツ庁関係者、学会会長、学会理事長ほかの審査を経て、次のような結果となりました。

○スポーツ庁長官賞

- ・「タレントシェアリングによる普及・強化・育成システムの構築」

大崎恵介（山梨学院大学）、小山さなえ、藤原優司

○日本スポーツ産業学会会長賞

- ・「スポーツチームの地域包括ケアシステム参入による地域貢献と財源増加策～税金の有効活用と3rdプレイスの創出～」

角田泰明（帝京大学経済学部川上祐司ゼミナール）



左から尾山 基会長、角田泰明氏、大崎恵介氏、藤原優司氏、齋藤福栄氏（スポーツ庁）

◇ も く じ ◇

・平成30年度の学会賞授与式について.....	2
・第28回学会大会プログラム.....	2
・第60回理事会報告.....	3
・第29回総会報告.....	5
・スポーツICT研究会開催報告.....	17
・事務局より.....	17
・『スポーツ産業学研究』原稿募集.....	18

平成30年度の学会賞授与式について

2019年7月27日(土)に開催された第29回総会後に、平成30年度の学会賞受賞者に対する授賞式が行われ、受賞者は尾山 基会長より、賞状と副賞を受け取りました。受賞論文は下記の通りです。

○学会賞論文……………副賞10万円

・「夏季冬季・男女の違いによる日本のオリンピック選手の競技引退理由の量的調査」

ウルヴェ 京（慶應義塾大学）、筒井 香（株式会社ポリゴン）、神武直彦（慶應義塾大学）

[原著論文]

（第28巻第4号掲載）

○奨励賞論文……………副賞各5万円

・「発展途上国における障害者スポーツ振興への影響要因：タイ王国を事例として」

遠藤華英（早稲田大学）、菅 文彦、舟橋弘晃、

間野義之 [原著論文]

（第28巻第3号掲載）

・「プロスポーツクラブの求める人材」

田島良輝（大阪経済大学）、西村貴之（金沢星稷大学）、櫻井貴志、岡野紘二（株式会社日本能率協会コンサルティング）、神野賢治（富山大学）、佐々木達也（金沢星稷大学）

[研究ノート]

（第28巻第1号掲載）



左から尾山 基会長、遠藤華英氏、ウルヴェ 京氏、田島良輝氏、北村 薫理事長

第28回大会プログラム

1. 会 期：2019年7月27日(土)～28日(日)
2. 会 場：日本体育大学（世田谷キャンパス）
3. テーマ：「令和時代のスポーツ産業」
社会、技術、地域、メディア、そしてスポーツの価値
4. 日 程
【7月27日(土)】
9：30 受付開始
10：00 一般研究発表（3会場：17題）
10：00 アイデアコンペ ポスター発表（15題）
11：30 理事会
13：10 オープニングパフォーマンス
13：30 基調講演「人それぞれのスポーツ観に応

じる風を」

杉山 茂（スポーツプロデューサー）

14：45 アイデアコンペ

16：30 総会・学会賞授与式

17：15 懇親会

【7月28日(日)】

9：30 受付開始

10：00 一般研究発表（3会場：17題）

10：00 アイデアコンペ ポスター発表（15題）

12：00 eスポーツデモ

13：00 シンポジウム(1)「アーバンスポーツとeスポーツの魅力と可能性」

シンポジスト：

針谷和昌（一般社団法人日本アーバ
ンスポーツ支援協議会 専務理
事）

羽染貴秀（一般社団法人日本eス
ポーツ連合 ディレクター）

古澤明仁（株式会社TIZeST 代表
取締役）

モデレーター：

澤井和彦（明治大学商学部 准教授）

14：45 シンポジウム(2)「ラグビーワールドカッ
プ2019のマーケティングとレガシー」

シンポジスト：

鶴田友晴（公益財団法人ラグビー
ワールドカップ2019組織委員会事
務総長代理）

渡辺昌之（三菱地所株式会社ラグ
ビーカップ2019プロジェクト推進
室室長）

篠 祐次（東京都ラグビーワールド
カップ2019準備担当部長）

モデレーター：

松瀬 学（東京都ラグビーワールド
カップ2019準備担当部長）

5. アイデアコンペ ポスター発表

（※印は当日の最終審査発表者）

・「バレーボールのトップリーグにおける企画
案」 小池舞奈（城西大学）

・「スポーツタスクフォースの創設－“人材”
と“経験”をシェアする－」

小川裕史（小川裕史行政書士事務所）

・「国内テニスを活性させる全日本男子プロテ
ニス選手会の取組」

米田良祐（FARMスポーツコミュニティ）

・「ジュニア・ユース世代の水球全国大会競技
運営における学生組織の活用」

土居陽治郎（国際武道大学）

・「わたしたちが考える大相撲の改革案」

新島聖梧（江戸川大学小林至ゼミ）

・「Vリーグでバレーボール界を盛り上げる」

澤田里奈（江戸川大学小林至ゼミ）

・「チケット不正転売禁止法で不正転売は防げ
るか」 藤原直樹（川村学園女子大学）

※・「スポーツチームの地域包括ケアシステム参
入による地域貢献と財源増加策～税金の有効

活用と3rdプレイスの創出～」

角田泰明（帝京大学経済学部川上祐司ゼミ
ナール）

・「Sport×Sustainability ～サステイナブルな
スポーツ産業活性化～太陽光発電システムを
活用した地域密着型スポーツクラブの地域密
着性向上と新たな収益システムの構築～」

仲道由紀子（帝京大学経済学部川上祐司ゼ
ミナール）

※・「LPGA放映権一括管理システムによる
WinWinモデルの構築～レベニューシェアリ
ングと公式アプリでツアートーナメントの活
性化～」

高野雄太郎（帝京大学経済学部川上祐司ゼ
ミナール）

※・「体験と観戦者の能動的競技参画による体操
競技普及プログラム」

大沼博靖（静岡産業大学）

※・「タレントシェアリングによる普及・強化・
育成システムの構築」

大崎恵介（山梨学院大学），小山さなえ，
藤原優司

※・「行動科学に基づく持続可能なスポーツ経営
スポーツ×環境経済」

萩原悟一（鹿屋体育大学），田中健太（武
蔵大学）

・「SDGsを推進する新たなアリーナの活用策～
福山市新総合体育館を中心に～」

藤本倫史（福山大学）

・「競技ドッジボールの国内普及と強化並びに
国際化にむけての提案」

齋藤れい（桐蔭横浜大学）

第60回理事会報告

日 時：2019年7月27日(土) 11時30分～12時50分

場 所：日本体育大学 世田谷キャンパス 教育
研究棟2階2204教室

出席者（敬称略）：

会 長 尾山 基，平田竹男

理事長 北村 薫

理 事 佐野毅彦，高橋義雄，次原悦子，中村
潔（代理：伊地知直亮），中村好男，

間野義之，三木谷浩史（代理：小木曾稔），水野明人（代理：板橋健児），水野利昭

監事 栗山貴行，得田進介

オブザーバー：

運営委員 青山芳之，石黒えみ，磯貝浩久，井上俊也，上田滋夢，宇藤智子，佐々木達也，佐藤 潤，澤井和彦，庄司博人，田中弘一，辻 武伺，長井延裕，長倉富貴，新井野洋一，藤本淳也

スポーツ庁参事官 川合 現

(株)コングレ 武内紀子

日本体育大学 石井隆憲

北村理事長による開会宣言後，尾山会長，平田会長，スポーツ庁の川合氏より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者10人（含代理出席），委任状提出者6人）が確認され，議事録署名人として高橋理事，伊地知氏（中村理事代理）が指名された。

議題1）第59回理事会議事録確認

第59回理事会議事録が確認された。

議題2）2018年度事業報告について

北村理事長の指名により，中村好男理事（運営委員長）より資料－1に基づき2018年度実施事業について説明がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題3）2018年度収支決算報告書について

北村理事長の指名により，佐野理事（総務委員長）より資料－2に基づき2018年度収支決算について説明がなされた。続いて得田監事より監査報告がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

資料訂正

頁	訂正箇所	修正前	修正後
8	支出の部 3. 学会大会開催費 差額	△3,038,517	△311,483
9	支出の部 7. 表彰事業費 差額	△435,142	15,142

議題4）賛助会員の入会について

北村理事長より，セノー株式会社ならびに株式会社スポーツITソリューションより賛助会員の入会申込があった旨説明があり，これが承認された。なお，賛助会員の入会申込があった場合の承認判断については理事長に一任し，結果を理事会へ報告することとなった。また，賛助会員の入会手続について会則改訂を含めて運営委員会にて検討することとなった。

議題5）2019年度事業計画について

前回理事会にて承認された2019年度事業計画（資料－3）を総会へ上程することが確認された。なお，中村好男理事（運営委員長）より，「4. 講演会・公開講座等の開催（4）その他事業」について，大学生によるスポーツ政策提言・意見交換を目的とした交流会である「Sport Policy for Japan 2019」の開催が予定されているが，本年度はSport Policy for Japan企画委員会の依頼を受けて共同主催者として運営協力するものであり，来年度以降については同企画委員会から提案があれば改めて検討する旨補足説明がなされた。

議題6）2019年度収支予算書について

前回理事会にて承認された2019年度収支予算（資料－4）を総会へ上程することが確認された。

議題7）役員及び運営委員改選について

北村理事長より，当日配布資料（資料－5）に基づき現任期の総括がなされ，続いて役員及び運営委員の改選提案がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

学術誌の質的向上について，学会にて設定したテーマの論文を募集すること，「ICT」「IoT」「AI」「ビッグデータ」等をキーワードとするテーマとすることが提案され，編集委員会にて詳細検討することとなった。なお，編集委員長が中村好男理事（運営委員長）から児玉ゆう子運営委員へ交代する旨補足説明がなされた。

議題8）第29回学会大会（2020年度）の開催について

北村理事長の指名により，高橋理事から第29回学会大会を早稲田大学主管により同大学国際会議場で

開催する旨の提案、実行委員長予定者である間野理事より詳細説明がなされ、これが了承された。

北村理事長の閉会宣言があり、理事会を終了した。

第29回総会報告

日本スポーツ産業学会第29回総会は、2019年7月27日16時30分より、日本体育大学世田谷キャンパス記念講堂において開催された。

1. 総会の出席者

第29回総会は、正会員49人（開会時）の出席、33人の委任状により成立した。

2. 議事の運営

総会は、佐藤 潤運営委員の開会宣言および司会で開会され、尾山 基会長の挨拶がなされた。正会員から水野利昭理事が議長に推挙された。議案及び審議概略は以下の通りである。

3. 議題

1) 2018年度事業報告について

議長の指名により、中村好男運営委員長より資料－1に基づき2018年度に実施した事業について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

2) 2018年度収支決算書報告について

議長の指名により、佐野毅彦運営副委員長より資料－2に基づき2018年度収支決算について説明がなされ、続いて、得田進介監事より資料に基づく監査結果の説明がなされ、資料を一部修正のうえ原案が承認された。

3) 2019年度事業計画について

議長の指名により、中村運営委員長より資料－3に基づき2019年度事業計画案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

4) 2019年度収支予算について

議長の指名により、佐野運営副委員長より資料－4に基づき2019年度予算案が提案され、原案通りこれが承認された。

5) 役員及び運営委員改選について

議長の指名により、北村薫理事長より資料－5に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。

6) 第29回学会大会（2020年）の開催について

議長の指名により、中村運営委員長より早稲田大学主管での開催が提案され、原案通りこれが承認された。続いて、実行委員長就任予定の間野義之理事より挨拶がなされた。

水野議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

（資料－1）

2018年度事業報告

2018年度の実施事業は以下の通りである。

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1) 会議の開催

- ・第28回総会を開催した（2018年7月21日、於・明治大学 駿河台キャンパス）。
- ・第58回理事会を開催した（2018年7月21日、於・明治大学 駿河台キャンパス）。
- ・第59回理事会を開催した（2019年2月11日、於・

大阪成蹊大学）。

- ・運営委員会を2回開催した（2018年7月2日、2019年1月21日）。

(2) 事務局機能の整備・充実

- ・ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）を活用した情報発信を行った。
- ・SPORTEC 2018（2018年7月25日～27日、於・東京ビッグサイト）に出展した。

(3) 会員の維持・拡充

- ・会員数（2019年3月31日現在）は以下の通りで

あった。

- －正会員523人（前年度比14人増）
- －学生会員89人（前年度比22人増）
- －法人会員8団体（前年度比5団体増）
（株）梓設計，コトブキシーティング（株），（株）
ジャパン・スポーツ・マーケティング，（株）
東京アスレティッククラブ，（株）東京ドーム
スポーツ，大成建設（株），ヒューマンアカデ
ミー（株），ブリッド（株）
- －賛助会員22団体（前年度比1団体減）
（株）アシックス，アディダス・ジャパン（株），
（株）井上ビジネスコンサルティング，（株）エム・
シー・コミュニケーションズ，オリックス
（株），（株）コングレ，（株）サニーサイドアップ，
（株）GKダイナミックス，（株）スペースメディ
アジャパン，公益社団法人スポーツ健康産
業団体連合会，セノー（株），（株）テクノバ，（株）
デサント，（株）電通，公益財団法人とさわ会，
阪神電気鉄道（株），（株）平野デザイン設計，ホ
クエツ印刷（株），ミズノ（株），（株）横浜国際ゴル
フ倶楽部，楽天（株），（株）WOWOW

2. 出版事業

- ・学会誌『スポーツ産業学研究』を以下の通り発
行した。
 - －第28巻第2号（2018年4月1日；フォーラム
1編，原著論文4編）
 - －第28巻第3号（2018年7月1日；原著論文2
編，研究ノート4編，スポーツ関連大学の入
試情報一覧（2017年度）〔改訂版〕）
 - －第28巻第4号（2018年10月1日；フォーラム
1編，原著論文3編，研究ノート3編，書評
2編，スポーツ関連大学の入試情報一覧（2018
年度））
 - －第29巻第1号（2019年1月1日；フォーラム
1編，原著論文1編，研究ノート1編，第27
回大会アイデアコンペ論文8編）
- ・学会誌『スポーツ産業学研究』（第28巻第2号
～第4号，第29巻第1号）の掲載論文を科学
技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）
にて公開した。
- ・『学会ニュース』No.105からNo.108を，それぞ
れ学会誌第28巻第2号から第29巻第1号と合本
して発行し，さらにウェブサイトに掲載した。

- ・情報誌『Sports Business & Management Re-
view』を以下の通り発行した。
 - －第6号（2018年4月1日）
 - －第7号（2018年7月1日）
 - －第8号（2018年10月1日）
 - －第9号（2019年1月1日）

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- ・第27回大会（2018年7月21日～22日，於・明治
大学 駿河台キャンパス）を開催した。
 - －参加人数：177人（うち有料入場者147人〔正
会員100人，学生会員26人，非会員一般13人，
非会員学生8人〕）
 - －メインテーマ
「2020後の日本のスポーツシステム」
 - －アイデアコンペ
 - スポーツ庁長官賞
「ふるさと納税を活用したスポーツ産業へ
のアプローチ」
萩原悟一（鹿屋体育大学）
 - 日本スポーツ産業学会会長賞
「地産地消にも貢献する 市民アスリート
への栄養（食事）サポート事業」
川村学園女子大学生活文化学科 藤原ゼミ
「障害者スポーツボランティアが生み出す
新しいスポーツの価値」
大崎恵介，長倉富貴（山梨学院大学）
- －シンポジウム1
「プロサッカークラブの市民オーナーシップ
システム：ドイツとイングランドの非営利法
人から考える」
【シンポジスト】
 - 釜崎 太氏（明治大学 准教授）
 - 張 寿山氏（明治大学 研究員）
 - 谷塚 哲氏（東洋大学 助教）【コーディネーター】
 - 舟橋弘晃氏（早稲田大学 講師）
- －シンポジウム2
「大学スポーツのオルタナティブを考える」
【シンポジスト】
 - 川井圭司氏（同志社大学 教授）
 - 西村大介氏（滋賀レイクスターズ 取締役）
 - 松橋崇史氏（拓殖大学 准教授）

【コーディネーター兼シンポジスト】

東原文郎氏（桜美林大学 准教授）

- －研究発表：40題（一般演題：34題，企画コンペ：6題）
- －企画コンペポスター発表：15題

(2)冬季学術集会

- ・第6回冬季学術集会（2019年2月11日，於・大阪成蹊大学）を開催した。

－参加人数：83人（〔正会員24人，学生会員12人，賛助会員1人，法人会員1人，非会員一般17人，非会員学生28人〕）

- －リサーチ・カンファレンス2019（研究発表数：27件）

1. 若手研究者育成セッション：大学院生（前期課程及び後期課程）

○最優秀賞（日本スポーツ産業学会賞）：
副賞 図書カード5千円

- ・「Major League Soccerの発展をもたらした選手獲得と育成環境の制度改革に関する研究」

早稲田大学大学院 河野遼兵

○優秀賞（日本スポーツ産業学会奨励賞）：
副賞 図書カード3千円

- ・「プロ野球の満席率に相手チームが与える影響」

早稲田大学大学院 佐々木 大

2. 卒論セッション：学部4年生

○最優秀賞（笹川スポーツ財団賞）：
副賞図書カード5千円

- ・「パラスポーツに関する報道環境の現状」 早稲田大学 前島花音

○優秀賞（笹川スポーツ財団奨励賞）：
副賞 図書カード3千円

- ・「脳波解析を用いたVR視聴とテレビ視聴の感情変化の研究」

鹿屋体育大学 木原沙織

3. ジュニアセッション：学部1～3年生・短大生・専門学校生

○日本スポーツボランティアネットワーク
優秀賞：副賞 図書カード5千円

- ・「LPGAトーナメント開催が企業ブランドに与える影響－富士通レディースと三菱電機レディースを事例に－」

帝京大学 高野雄太郎

○日本スポーツボランティアネットワーク
奨励賞：副賞 図書カード3千円

- ・「大学生による自然豊かな地域で開催されるスポーツイベントの活性化
－「姫ボタル・瀧川平トレイルラン」の課題の検討－」

阪南大学 井上幸涼

－シンポジウム

「『ポスト2020』のスポーツライフ創造と産業振興」

【シンポジスト】

岡田邦男氏（大阪成蹊大学教育学部 教授
/NPO法人健康経営研究会 理事長）

辰野 勇氏（株式会社モンベル 代表取締役会長）

溝畑 宏氏（公益財団法人大阪観光局 理事長）

【ファシリテーター】

植田真司氏（大阪成蹊大学 教授）

4. セミナー等事業の推進

(1)企画委員会事業

- ・スポーツ産業学セミナーを6回開催した（第45回～第50回）。

－第45回「ラグビーのまち・釜石市の挑戦～スポーツで地方を元気に～「震災からラグビーワールドカップ2019までの道のり」」

講師：増田久士氏（釜石市ラグビーワールドカップ2019推進本部事務局 主幹）

開催日：2018年6月11日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス
7号館 205教室

参加人数：24人（学会員8人，非学会員13人，
学生2人，賛助会員1人）

－第46回「テレビゲームからスポーツへ！日本におけるeスポーツの未来とは～無限の可能性を秘めるeスポーツのこれから～」

講師：中村伊知哉氏（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

開催日：2018年7月23日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

3号館 405教室

参加人数：53人（学会員13人，非学会員27人，非学生会員8人，賛助会員4人）

－第47回「スポーツの夢を追いかけて」

講師：梶 正勝氏（インタースポーツ株式会社 代表取締役，東都大学野球連盟 評議員，一般社団法人日本スポーツ教育アカデミー 理事）

開催日：2018年8月1日

場所：大妻女子大学 千代田キャンパス G棟3階 アクティブラウンジ

参加人数：6人（学会員3人，非学会員2人，法人会員1人）

－第48回「eスポーツの発展に関する課題とは」

講師：松原昭博氏（株式会社サードウェブ 上席執行役員）

開催日：2018年12月17日

場所：早稲田大学 8号館 B107教室

参加人数：14人（学会員4人，非学会員4人，学生4人，賛助会員2人）

－第49回「卓球新時代，Tリーグの構想とは」

講師：松下浩二氏（Tリーグ チェアマン）

開催日：2019年1月28日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館304教室

参加人数：7人（学会員5人，学生1人，賛助会員1人）

－第50回「ラグビーワールドカップ2019の経済効果」

講師：嶋津祐一氏（九州ラグビーフットボール協会 顧問，ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ（JIS）取締役）

開催日：2019年3月19日

場所：大妻女子大学 千代田キャンパス G棟 3階アクティブラウンジ

参加人数：26人（学会員9人，非学会員10人，学生非会員2人，賛助会員5人）

(2)専門分科会事業

- ・スポーツ産業史専門分科会に補助した。

(3)その他事業

- ・スポーツビジネスジャパン2018 together with スタジアム&アリーナ2018（2018年8月30日～31日，於・ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（JR「大阪駅」より徒歩3分））を開催した。

- ・シンポジウム「スタジアム&アリーナの新展開（第二弾）」（2018年6月5日，於・早稲田大学国際会議場）を開催した。

「スタジアム&アリーナの新展開～エンターテインメントから街づくりまで～」

講演：

「The trend of the Stadium and Arena-Monetization model for effective use of ICT」

Mr. Ken Martin（Cisco Systems USA HQ, Director Sports & Entertainment Business Unit）

「スポーツの成長産業化とスタジアム・アリーナ改革の推進」

由良英雄氏（スポーツ庁 民間スポーツ担当参事官）

「最先端アリーナを目指して～筑波大学の挑戦～」

石野利和氏（筑波大学副学長・理事）

「“感動”だけが人を動かす～スポーツビジネスと場の創造」

坂田淳二氏（株式会社アミューズ 執行役員）

「エンターテインメント施設を中核として総合都市開発～AEG社のビジネスモデルより～」

北谷賢司氏（金沢工業大学教授／AEG EVP ASIA）

「スタジアム&アリーナビジネスを極める～スポーツビジネス2018へのお誘い～」

コーディネータ：

間野義之氏（早稲田大学 教授／日本スポーツ産業学会 理事）

コメンテータ：

浅井忠美氏（株式会社日本政策投資銀行 地域企画部長）

ヨーコ・ゼッターランド氏（公益財団法人日本スポーツ協会 常務理事）

田口楨則氏（一般社団法人日本トップ

リーグ連携機構 理事 事務局長)

藤沢久美氏 (シンクタンク・ソフィアバンク 代表)

由良英雄氏 (スポーツ庁 民間スポーツ担当 参事官)

参加人数: 383人 (学会員25人, 非学会員243人, 学生会員2人, 学生非会員3人, 法人, 会員17人, 招待79人 (内賛助会員18人), 区分不明者14人)

・シンポジウム (2019年1月29日, 於・早稲田大学国際会議場) を開催した。

「スポーツ観戦イノベーションと映像技術の今を語る～観戦セキュリティからeスポーツ&AR/VRまで～」

講演:

「近年のサイバー脅威の動向変化と大規模スポーツイベントにおける脅威シナリオ」

名和利男氏 (サイバーディフェンス研究所 専務理事上席分析官)

シンポジウム: スポーツ観戦イノベーションと映像技術の今を語る

第一部: 観戦セキュリティの今

①「メガスポートイベントにおけるテクノロジーイノベーション」

早田吉伸氏 (NEC東京オリンピック・パラリンピック推進本部 本部長代理)

②「スポーツ領域におけるセキュアビジネスの可能性を探る」

斎藤 稔氏 (凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部)

第二部: スポーツ観戦映像技術の今

③「未来提案の場“2020”に向けたNTT研究所の取り組み」

木下真吾氏 (日本電信電話株式会社 NTTサービスエボリューション研究所)

④「競技場内 統合演出ソリューション」

武藤雄太氏 (パナソニックシステムソリューションズジャパン)

⑤「スポーツの魅力を高めるICT ～富士通のスポーツビジネスの取り組みについて～」

保田益男氏 (富士通株式会社 営業部門 長補佐)

第三部: eスポーツとAR/VRの今

⑥「Eスポーツの現状と今後の動向, 顧客観

戦体験向上への貢献」

古澤明仁氏 (RIZeST代表取締役社長/日本Eスポーツ連合 広報・国際委員会委員長)

⑦「eSportsを支えるコミュニティと通信事業者の取り組み」

影澤潤一氏 (NTT東日本 ビジネス開発本部)

⑧「最新テクノロジー搭載のAR/VR機器を駆使したスポーツの楽しみかた」

土居憲太郎氏 (レノボ・ジャパン株式会社 コマーシャル事業部 ソリューション企画部 部長)

第四部: 総括

⑨「スポーツ産業の最新グローバルトレンド 2018」

参加人数: 169人 (学会員26人, 非学会員73人, 学生会員2人, 学生非会員1人, 法人会員10人, 招待57人 (内賛助会員6人))

・スポーツICT研究会 (2019年3月12日, 於・早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館304教室) を開催した。

「eスポーツの進化とIT環境の役割」

話題提供者: 影澤潤一氏 (NTT東日本 ビジネス開発本部)

古澤明仁氏 (RIZeST代表取締役/日本Eスポーツ連合 広報・国際委員会委員長)

加人数: 41人

5. 学会賞について

・第27回大会懇親会にて学会賞の授与式を行った。

－学会賞 (副賞10万円)

「エリートスイマーのメンタルタフネス尺度開発」

伊藤華英 (順天堂大学), 山田 快 (法政大学), 舟橋弘晃 (早稲田大学) 上林 功, 間野義之, 広沢正孝 (順天堂大学)

(『スポーツ産業学研究』第27巻第3号掲載)

－奨励賞 (副賞各5万円)

「体育館天井に設置された一台のカメラによる卓球のゲーム分析」

竹内義則（大同大学）、吉田和人（静岡大学）
 （『スポーツ産業学研究』第27巻第3号掲載）
 「スポーツ中継視聴者の看板広告への視線検証」

萩原悟一（鹿屋体育大学）、秋山大輔（日本経済大学）、隅野美砂輝（鹿屋体育大学）
 （『スポーツ産業学研究』第27巻第3号掲載）

・第29回総会で授与が予定されている学会賞の候補論文を選考した。

6. その他

・学会のあり方を検討した。

（資料－2）

2018年度収支決算報告

（2019年3月31日現在）

（収入の部）

（単位：円）

科 目		予 算 額	実 績	差 額
1.	入会金収入	90,000	132,000	42,000
a.	入会金収入	90,000	132,000	42,000
2.	会費収入	7,260,000	7,905,000	645,000
a.	正会員会費収入	2,730,000	3,535,000	805,000
b.	学生会員会費収入	80,000	170,000	90,000
c.	法人会員会費収入	450,000	400,000	△50,000
d.	賛助会員会費収入	4,000,000	3,800,000	△200,000
3.	寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
a.	寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
4.	販売品収入	2,050,000	1,617,084	△432,916
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	2,000,000	1,325,500	△674,500
b.	図書等販売収入	50,000	291,584	241,584
5.	学会大会収入	1,675,000	1,668,000	△7,000
a.	参加費収入	905,000	1,017,000	112,000
b.	協賛金収入	300,000	400,000	100,000
c.	懇親会費収入	320,000	249,000	△71,000
d.	その他	150,000	2,000	△148,000
6.	冬季学術集会収入	130,000	70,000	△60,000
a.	参加費	0	0	0
b.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	70,000	△60,000
7.	事業収入	1,000,000	2,266,543	1,266,543
a.	セミナー事業収入	1,000,000	2,266,543	1,266,543
b.	その他	0	0	0
8.	雑収入	1,100	155	△945
a.	預金利息	100	107	7
b.	雑収入	1,000	48	△952
収 入 合 計		12,206,100	13,708,782	1,502,682

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	実 績	差 額
1. 学会組織の整備拡充費		900,000	548,331	△351,669
a.	理事会会議費	100,000	107,892	7,892
b.	運営委員会会議費	100,000	95,480	△4,520
c.	ウェブサイト管理費	400,000	293,642	△106,358
d.	広報活動費	300,000	51,317	△248,683
2. 出版事業費		5,648,000	5,854,707	206,707
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	2,981,268	△218,732
b.	学会誌編集費	400,000	234,226	△165,774
c.	情報誌製作費	1,800,000	2,214,392	414,392
d.	発送費	248,000	424,821	176,821
3. 学会大会開催費		1,675,000	1,363,517	△311,483
a.	会場費	50,000	195,912	145,912
b.	懇親会費	545,000	295,432	△249,568
c.	印刷費	250,000	362,520	112,520
d.	講師関係費	200,000	165,696	△34,304
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	37,404	37,404
g.	事務局費	600,000	306,553	△293,447
h.	予備費	30,000	0	△30,000
4. 冬季学術集会開催費		580,000	340,880	△239,120
a.	会場費	200,000	0	△200,000
b.	昼食会費	50,000	28,871	△21,129
c.	印刷費	100,000	93,096	△6,904
d.	事務局経費	100,000	3,970	△96,030
e.	事業費	130,000	214,943	84,943
5. 事業費		420,000	862,463	442,463
a.	セミナー事業費	300,000	799,567	499,567
b.	カンファレンス事業費	50,000	21,388	△28,612
c.	専門分科会事業費	20,000	20,080	80
d.	その他事業費	50,000	21,428	△28,572
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		210,000	225,142	15,142
a.	学会賞表彰事業費	210,000	225,142	15,142
8. 事務局費（管理費）		3,080,000	4,345,455	1,265,455
a.	交通費	350,000	598,715	248,715
b.	消耗品費	200,000	446,989	246,989
c.	通信費	300,000	293,610	△6,390
d.	人件費	2,200,000	2,976,366	776,366
e.	雑費	30,000	29,775	△225
9. 予備費		0	0	0
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	0	0
支 出 合 計		12,513,000	13,540,495	1,027,495
収 支 差 額		△306,900	168,287	475,187
前 期 繰 越 金		20,340,284	19,648,807	△691,477
次 期 繰 越 金		20,033,384	19,817,094	△216,290

(資料－3)

2019年度事業計画

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1)会議の開催

- ・総会（第29回）
- ・理事会（第60回・第61回）
- ・運営委員会（2～3回の予定）

(2)学会の広報

- ・ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）の活用・充実
- ・展示会等への出展
- ・その他の広報活動

(3)事務機能の強化

- ・ウェブシステムの更新

〔参考〕正会員523人，学生会員89人，法人会員
8団体，賛助会員22団体

（2019年3月末現在）

2. 出版事業

(1)学会誌の発行

- ・『スポーツ産業学研究』（第29巻第2～第4号，第30巻第1号）
- ・『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第29巻第2～第4号，第30巻第1

号）

(2)情報誌の発行

- ・『Sports Business & Management Review』（No.10～No.13）

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- ・第28回学会大会（2019年7月27日(土)～28日(日)
於・日本体育大学 世田谷キャンパス）

(2)冬季学術集会

- ・第7回冬季学術集会（2020年2月16日(日)
於・同志社大学）

4. 講演会・公開講座等の開催

- (1)スポーツ産業学セミナーの開催（6回程度）
- (2)第3回スポーツビジネスジャパンの開催
- (3)専門分科会事業
- (4)その他事業

5. 表彰事業

- ・学会賞の表彰
- ・学会賞候補論文の選考

6. その他

- ・産学連携事業の推進
- ・他団体主催イベントへの後援・協力

(資料－４)

2019年度収支予算書

(2019年４月１日～2020年３月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	入会金収入	90,000	90,000	0
a.	入会金収入	90,000	90,000	0
2.	会費収入	7,760,000	7,260,000	500,000
a.	正会員会費収入	3,100,000	2,730,000	370,000
b.	学生会員会費収入	160,000	80,000	80,000
c.	法人会員会費収入	500,000	450,000	50,000
d.	賛助会員会費収入	4,000,000	4,000,000	0
3.	寄付金・補助金収入	0	0	0
a.	寄付金・補助金収入	0	0	0
4.	販売品収入	2,050,000	2,050,000	0
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	2,000,000	2,000,000	0
b.	図書等販売収入	50,000	50,000	0
5.	学会大会収入	1,675,000	1,675,000	0
a.	参加費収入	905,000	905,000	0
b.	協賛金収入	300,000	300,000	0
c.	懇親会費収入	320,000	320,000	0
d.	その他	150,000	150,000	0
6.	冬季学術集会収入	130,000	130,000	0
a.	参加費	0	0	0
b.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	130,000	0
7.	事業収入	1,500,000	1,000,000	500,000
a.	セミナー事業収入	1,500,000	1,000,000	500,000
b.	その他	0	0	0
8.	雑収入	1,100	1,100	0
a.	預金利息	100	100	0
b.	雑収入	1,000	1,000	0
収 入 合 計		13,206,100	12,206,100	1,000,000

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	学会組織の整備拡充費	1,400,000	900,000	500,000
a.	理事会会議費	100,000	100,000	0
b.	運営委員会会議費	100,000	100,000	0
c.	ウェブサイト管理費	400,000	400,000	0
d.	広報活動費	300,000	300,000	0
e.	ウェブシステム更新費	500,000		500,000
2.	出版事業費	5,648,000	5,648,000	0
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,200,000	0
b.	学会誌編集費	400,000	400,000	0
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,800,000	0
d.	発送費	248,000	248,000	0
3.	大会開催費	1,675,000	1,675,000	0
a.	会場費	50,000	50,000	0
b.	懇親会費	545,000	545,000	0
c.	印刷費	250,000	250,000	0
d.	講師関係費	200,000	200,000	0
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	600,000	600,000	0
h.	予備費	30,000	30,000	0
4.	冬季学術集会開催費	580,000	580,000	0
a.	会場費	200,000	200,000	0
b.	昼食会費	50,000	50,000	0
c.	印刷費	100,000	100,000	0
d.	事務局経費	100,000	100,000	0
e.	事業費	130,000	130,000	0
5.	事業費	420,000	420,000	0
a.	セミナー事業費	300,000	300,000	0
b.	カンファレンス事業費	50,000	50,000	0
c.	専門分科会事業費	20,000	20,000	0
d.	その他事業費	50,000	50,000	0
6.	国際交流事業費	0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7.	表彰事業費	210,000	210,000	0
a.	学会賞表彰事業費	210,000	210,000	0
8.	事務局費（管理費）	3,680,000	3,080,000	600,000
a.	交通費	350,000	350,000	0
b.	消耗品費	200,000	200,000	0
c.	通信費	300,000	300,000	0
d.	人件費	2,800,000	2,200,000	600,000
e.	雑費	30,000	30,000	0
9.	予備費	0	0	0
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	0	0
支 出 合 計		13,613,000	12,513,000	1,100,000
収 支 差 額		△406,900	△306,900	△100,000
前 期 繰 越 金		19,817,094	20,340,284	
次 期 繰 越 金		19,410,194	20,033,384	

(資料－５)

役員及び運営委員改選について

(2019年7月27日から2022年7月まで)

役 員

新		旧	
会 長	尾山 基 (留任)	会 長	尾山 基
〃	平田 竹男 (留任)	〃	平田 竹男
理 事 長	北村 薫 (留任)	理 事 長	北村 薫
理 事	池田 弘 (留任)	理 事	池田 弘
〃	井上 智治 (留任)	〃	井上 智治
〃	梶川 裕矢 (留任)	〃	梶川 裕矢
〃	佐野 毅彦 (留任)	〃	佐野 毅彦
〃	高橋 義雄 (留任)	〃	高橋 義雄
〃	武内 紀子 (新任)	〃	竹内 弘高
〃	竹内 弘高 (留任)	〃	次原 悦子
〃	次原 悦子 (留任)	〃	中村 潔
〃	中村 潔 (留任)	〃	中村 好男
〃	中村 好男 (留任)	〃	原田 宗彦
〃	原田 宗彦 (留任)	〃	平野 哲行 (退任)
〃	藤原 庸介 (留任)	〃	藤原 庸介
〃	松尾 哲矢 (留任)	〃	松尾 哲矢
〃	間野 義之 (留任)	〃	間野 義之
〃	三木谷浩史 (留任)	〃	三木谷浩史
〃	水野 明人 (留任)	〃	水野 明人
〃	水野 利昭 (留任)	〃	水野 利昭
〃	宮内 義彦 (留任)	〃	三ッ谷洋子 (退任)
〃	渡邊 一利 (新任)	〃	宮内 義彦
顧 問	桂川 保彦 (留任)	顧 問	桂川 保彦
監 事	栗山 貴行 (留任)	監 事	栗山 貴行
〃	得田 進介 (留任)	〃	得田 進介

(計 25名)

運 営 委 員

新		旧	
委 員 長	中村 好男 (留任)	委 員 長	中村 好男
副 委 員 長	佐野 毅彦 (留任)	副 委 員 長	佐野 毅彦
〃	高橋 義雄 (留任)	〃	高橋 義雄
委 員	青山 芳之 (留任)	委 員	青山 芳之
〃	東 俊介 (留任)	〃	東 俊介
〃	家本賢太郎 (留任)	〃	家本賢太郎
〃	石黒 えみ (留任)	〃	石黒 えみ
〃	伊地知直亮 (留任)	〃	伊地知直亮
〃	磯貝 浩久 (留任)	〃	磯貝 浩久
〃	井上 俊也 (留任)	〃	井上 俊也
〃	岩月 基洋 (留任)	〃	岩月 基洋
〃	上田 滋夢 (留任)	〃	上田 滋夢
〃	元 晶煜 (留任)	〃	元 晶煜
〃	宇藤 智子 (留任)	〃	宇藤 智子
〃	岡 浩一朗 (留任)	〃	岡 浩一朗
〃	梶川 裕矢 (留任)	〃	梶川 裕矢
〃	菊池 秀夫 (留任)	〃	菊池 秀夫
〃	越川 茂樹 (留任)	〃	工藤 康宏 (退任)
〃	児玉ゆう子 (留任)	〃	越川 茂樹
〃	佐々木達也 (留任)	〃	児玉ゆう子
〃	佐藤 潤 (留任)	〃	佐々木達也
〃	澤井 和彦 (留任)	〃	佐藤 潤
〃	庄子 博人 (留任)	〃	澤井 和彦
〃	新戸 明子 (留任)	〃	庄子 博人
〃	田中 弘一 (留任)	〃	新戸 明子
〃	辻 武伺 (留任)	〃	田中 弘一
〃	長井 延裕 (留任)	〃	辻 武伺
〃	長倉 富貴 (留任)	〃	長井 延裕
〃	新井野洋一 (留任)	〃	長倉 富貴
〃	服部 宏 (留任)	〃	新井野洋一
〃	藤田 康範 (留任)	〃	服部 宏
〃	藤本 淳也 (留任)	〃	藤田 康範
〃	松尾 哲矢 (留任)	〃	藤本 淳也
〃	松橋 崇史 (留任)	〃	松尾 哲矢
〃	間野 義之 (留任)	〃	松橋 崇史
〃	水野 利昭 (留任)	〃	間野 義之
〃	矢島ますみ (留任)	〃	丸山 剛生 (退任)
〃	梁瀬 和人 (留任)	〃	水野 利昭
		〃	矢島ますみ
		〃	梁瀬 和人

(計 38名)

スポーツICT研究会開催報告

1. 第3回スポーツICT研究会

■日時：2019年6月11日(火)19時00分～20時30分

■場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館
405教室

■テーマ：「新時代のスポーツ映像サービス」

■話題提供者：木谷 靖氏（NTTプララ 技術
本部 サービス開発部長）

■参加人数：41人

■場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館

405教室

■テーマ：「eスポーツアリーナの可能性とIT環境の役割」《第一弾》

■話題提供者：岩瀬功樹氏（梓設計）

影澤潤一（NTT東日本 ビジネス開発本部）

古澤明仁（RIZeST代表取締役/日本eスポーツ連合 広報・国際委員会委員長）

2. 第4回スポーツICT研究会

■日時：2019年7月9日(火)19時00分～20時30分

■参加人数：24人

事務局より

〈2019年度年会費納入のお願い〉

現在、2019年度年会費（正会員・7,000円、学生会員2,000円）の納入受付をしております。どうぞ宜しくお願い致します。

〔郵便振替〕口座番号 00160-1-600893
加入者名 日本スポーツ産業学会

〔銀行口座〕①三菱UFJ銀行 東京公務部 普通口座 3572697
②三菱UFJ銀行 神田支店 普通口座 1198315

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約650名、賛助会員が21団体、法人会員が10団体です。本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。下記事務局にご紹介頂ければ幸いです。

日本スポーツ産業学会事務局

〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
TEL/FAX：042-461-1241
E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp
<http://www.spo-sun.gr.jp/>

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メール添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo111」

発行日：2019年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 北村 薫

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，藤田 康範
藤本 淳也，丸山 剛生，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<http://www.spo-sun.gr.jp/>